

事業名 CD	0103020113	乳幼児医療費助成事業
細分化した事業名	0	
事業担当課室 CD	200100	市民課
		整理コート*

〈事務事業の位置づけ〉

第5次長期総合計画での目的体系	大項目	子どもを安心して生き、育てられる社会の実現	
	中項目	子育て支援の充実	
	小項目	0	
関連する個別計画等	0	根拠条例等	山梨県乳幼児医療費助成事業補助金交付要綱、市子ども医療費助成金支給条例
関連する事業	ひとり親家庭医療費助成事業・重度心身障害者医療費助成事業		

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	乳幼児の医療費を助成することにより、保護者の経済的負担を軽減し、乳幼児疾病の早期発見と早期治療を促進し、医療の充実を図る。
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	対象者→県補助対象＝小学校入学前（乳幼児）の保護者、市単独事業＝小学6年生までの保護者。 対象医療費→上記乳幼児並びに児童の医療費自己負担分 (自己負担分→小学校入学前＝2割、小学1年生から小学6年生まで＝3割)
これまでの改善経過	対象年齢：就学前（県補助1/2）、小学6年生まで（市単） H19：対象年齢拡大（市単開始） H20：窓口無料化 事業費実績 H17：38,471千円 H18：37,511千円
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	〈実施・運営方法〉 ■市 ○委託 ○補助金 ○その他 (0) 対象 ・県補助＝ 入院 小学校入学前まで 外来 5歳の誕生日まで ・市単独＝ 入院・外来とも小学6年生まで ・申請期間・・・受診した日の翌月より1年間
事業の成果 (どのような状態にしたいのか) (どのような効果を得るのか)	・乳幼児にかかる経済的負担の軽減と医療の充実

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		19年度	20年度	21年度
A	事業費 (千円)	63,825	94,104	84,184
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金	15,819	21,458	16,903
	市債			
	その他			
	一般財源	48,006	72,646	67,281
B	担当職員数(非常勤 職員 E) (人)	0.40 0.30	0.25	0.32
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	2,071	1,727	2,183
D	総事業費(A+C) (千円)	65,896	95,831	86,367
*参考	H21)市民1人当りの事業コスト	2,693 円	H21)市民1人当りの行政サービス費用	579,596 円

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。
 注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、19年度(6,901千円)、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)を使用しています。
 注3)一般財源とは使途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			19年度	20年度	21年度
活動指標	助成対象人数	年度末対象者(人)	932	1,053	1,079
	助成件数	年間総件数(件)	17,828	26,254	25,851
	助成金額	年間総助成金額(千円)	90,395	113,129	112,288
成果指標	対象者一人あたり年間利用件数(件) (算出式数値)	助成件数/助成対象人数 25,851件/1,079人	19.13	24.93	23.96
	1件当たりの助成金額(円) (算出式数値)	年間総助成金額/総助成件数 112,288千円/25,851件	5,070	4,309	4,344
効率指標	1人当たりの費用額(円) (算出式数値)	総事業費/助成対象人数 113,380千円/1,079人	98,175	108,484	105,079
	1件当たりの費用額(円) (算出式数値)	人件費及び事務費/総助成件数 113,380千円/25,851件	5,132	4,351	4,386

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない ・重度心身障害者医療費助成制度は、重度心身障害者の経済的支援や医療受診の充実からも妥当である。		
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない ・助成を行うことで経済負担の軽減が図られている。		
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない ・効率的である。		
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成		
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化(コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 手段の改善(実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化(結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化(事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合(他の事業と統合する、または廃止する) <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり		
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)		
	(1) 中長期的 円滑な事業推進	(2) 23年度 円滑な事業推進	(3) 22年度 円滑な事業推進
	21年度の改善計画		
21年度の改善結果			
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること)			
課長所見	全県下による障害者支援事業であり、その成果が上がっているので継続実施		